



平成28年度 君津中地区 地域ケア会議 報告書

平成29年1月30日（月）君津市生涯学習交流センターにて、
「安否確認」「認知症の理解」について意見交換を行いました。

内容

平成28年11月に実施した、1回目の地域ケア会議では、君津中地区の地域課題として「安否確認」「認知症の理解」「ちょっとした手助け」「外出できる場の不足」「活動力低下」という意見があがり、2回目で検討するテーマを「安否確認」「認知症の理解」の2つに絞りました。

2回目に行われた地域ケア会議では、参加していただいた各団体で、できる事はないか、特に「自助・互助」の力を活かしてできる事を検討していただき、その結果を発表しました。

その後、中地区としてこういった取組みを行っていくかの意見交換を行いました。

ご意見

●安否確認について

- 日々の見守りから生死にかかわるものまで幅が広い。
- 見守りリストから外れている人の中に、支援が必要な人がいるのではないかな。
- 虐待の有無や、家族支援などの視点を持つことが大切。
- 個人情報のある壁があるため、本人や家族にメリットを伝え、個人情報を共有する事への理解を得ていく必要がある。
- 「安心見守りカード」の利用により、支援する側もお互いに安心感を得ることができるのでは。介護支援専門員の事業所の連絡先を記入した方が良い。
- 「緊急通報システム」の情報提供や助成制度も検討してほしい。
- 今後は、災害時の安否確認についても検討していく必要があるのではないかな。

ご意見

●認知症の理解について

- ・認知症の判断や対応は初期段階から寝たきりまで幅が広く難しい。
- ・認知症であるかないかより、本人が必要としているか。必要としている人への声掛けを行うことを検討できないか。
- ・皆で見守る事により、個々の精神的負担の軽減になるのではないか。
- ・地域力が住みなれた環境での生活の継続に繋がる。
- ・認知症の人にも感情はあり、自分の事を知っている人からの声掛けは刺激になってよいのではないか。
- ・周囲の人達からサポートを受け、家族にも安心感を持ってほしい。

まとめ

- 「安否確認」「認知症の理解」というテーマに対し、各団体に活動はしているものの、その中で不安や悩みを抱え、情報や連携の不足を感じている。今後のテーマとして、「認知症の理解を深める」「地域の見守りから外れている方について」「災害時の安否確認」をあげ、具体的活動内容や、各団体間の連携、新たな活動内容やシステム、役割分担を検討していく。

ご意見を参考にさせていただき、平成29年度の地域ケア会議を実施していきたいと思えます。



君津市中部地域包括支援センター

TEL 0439-32-1717

君津市八幡64 介護老人保健施設
メディケアー君津敷地内

君津市地域包括支援室

TEL 0439-56-1732

君津市久保2-13-1

君津市役所 高齢者支援課